

学年	I	週単位時間数	1.5	年間単位時数	52.5	授業集団	4 名	使用教室	業科 I 年教室
資質・能力		(情)情報を収集する力 (コ)コミュニケーション力 (他)他の人を理解する力 (自)自己を理解する力 (協)協働する力 (地)地域で生活する力							
①		日常の事象を理数的に捉え、学んだことを生活や他教科の学習と関連付けられるようにする。							
②		タブレット等の ICT 機器を活用しながら、数学的な見方・考え方を働かせ、物事を簡潔・明瞭・的確に表す力を養うことができるようにする。							
③		グループワーク活動を通して、数学的活動の楽しさや良さに気づき、生活や学習に活用しようとする態度を育成できるようにする。							
目標		① 知識及び技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等							

学習計画			
月	学習内容(何を学ぶか) 関連する資質・能力の表示 関連教科は★付けて表示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)
4月	「オリエンテーション」(情) 「数と計算」(情)(自)	・1年間の学習内容を理解し、見通しを持つことができる。 ・これまで身に付けた力を生かして、課題に取り組む。 ・単位の呼称が分かり、数えることができる。	・課題ワーク ・単位物の呼称
5月	「数と計算」(情)(自) ★作業学習	・筆算で加法、減法の計算ができる。 ・筆算で二桁の乗法、除法ができる。 ・九九の暗唱ができる。	・四則計算の方法を確認。 ・筆算の方法の確認。 ・課題ワーク
6月	「時間と時刻」(情)(自) ★国語	・時計を読むことができる。 ・24時間表示で読むことができる。 ・時間と時刻の概念を理解し、何分後・何分前の時刻を求めることができる。	・デジタル時計、アナログ時計 ・課題ワーク
7月 8月	「金銭」(情)(地) ★社会、ライフキャリア	・金種を理解し、等価関係がわかる。 ・金額を計算できる。 ・出納帳へ正しく記入することができる。 ・タブレット端末を活用し、電卓で計算結果を確認することができる。	・出納帳を活用する。 ・電卓を活用。 ・課題ワーク。
9月 10月	「量と測定」(情)(コ)(協) ★作業学習	・定規や巻き尺で長さを適切に測ることができる。 ・長さを表す単位を理解することができる。 ・長さの単位を変えて表すことができる。	・道具の使い方を確認。 ・身近な物の長さを仲間と協力して測定。
11月	「表とグラフ」(情)(地) ★国語、情報	・棒グラフや折れ線グラフなどの簡単なグラフの種類があることや、読み方が分かる。 ・表とグラフを照合し、読み取ることができる。 ・表の数値からグラフを作成することができる。	・身近な表やグラフを探し、読み取る。 ・簡単なアンケートの実施とまとめ。
12月	「量と測定」(情)(コ)(協) ★作業学習	・容積を表す単位を理解することができる。 ・かさや重さの量の測定の仕方、単位変換の方法を理解することができる。 ・正しい測定方法で値を求めることができる。	・実際に容量、重さの計量を行う。 ・身近な物の容量や重さを仲間と協力して測定する。
1月 2月	「図形」(情)(コ)(協) ★作業学習	・長方形、正方形、三角形等の基本の図形の名称と形が分かる。 ・正しい方法で作図をすることができる。 ・四角形と三角形の面積を求めることができる。	・道具の使い方を確認する。 ・仲間と協力して作図をする。 ・課題ワーク
3月	「1年間のまとめ」(情)(自)	・1年間の学習を振り返ることができる。	・課題ワーク

評価の観点	① 知識及び技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等
① 日常の事象を理数的な観点で捉えながら理解し、生活や他教科において数学的に関連付けて解釈できる。 ② ICT 機器を活用しながら、数学的な観点を働かせ、物事を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 ③ 数学で学習した内容を、生活や学習に活用しようとする態度が身に付いている。	